

令和3年度

論 文

(小学校教諭・中学校教諭・栄養教諭)

(注意事項)

1. 題名は書かず、1行目から書き始めること
2. 原稿用紙の使い方に従い、1,000字以内でまとめること
3. 受験校種、教科科目、受験番号の記入漏れのないようにすること

問題

次の事例を読んで、下の〈条件〉の順に、1,000字以内で論じなさい。

ある学級で、給食の残食が多く、給食委員の児童（生徒）が困っていました。そこで、学級委員長に相談すると、学級活動の時間に、そのことについてみんなで話し合いをしたら何か解決策が見つかるのではないかということになりました。早速、担任の先生に学級活動の時間に話し合いをしたいと相談すると、先生は「分かりました。2週間後の学級活動の時間を使って話し合いましょう」と言い、学級委員長と給食委員の児童（生徒）に、話し合いを深めるため、事前に準備することを1つ指示しました。

〈条件〉

<小学校教諭、中学校教諭での志願者>

- 1 はじめに、話し合いを計画している上の事例の学級の様子を、あなたはどのように評価するか、特別活動の特質や学級活動の目標を踏まえ、述べること。
- 2 次に、担任の先生が児童（生徒）に指示した事前の準備の内容について、もしあなたがこの学級の担任の立場であれば、どのような内容にするのか、理由を含め述べること。
- 3 最後に、あなたがこの学級の担任であったとして、この話し合いを「合意形成」の話し合いにするか、それとも「意思決定」の話し合いにするか、どちらかを選び、その理由を含め述べること。

<栄養教諭での志願者>

- 1 はじめに、この学級の問題解決に向け、あなたが担任の先生から「合意形成」の話し合いにするか、「意思決定」の話し合いにするかについて相談されたとき、食に関する指導の専門的立場として、どちらの話し合いを勧めるか、理由を含め述べること。
- 2 次に、話し合いを深めるため、担任の先生が指示した事前の準備の内容について、あなたであれば、どんな内容にするのか、理由を含め述べること。
- 3 最後に、給食の残食という問題に対し、自分自身が栄養教諭という立場で、どのような取り組みができるかについて、授業以外の内容で2つ挙げ、その理由を含め述べること。